

地域重点プロジェクト(国)の進捗状況

食産業高付加価値化プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

食料安全保障の観点から、国民に安全で安心な食の供給を確保し、国内の食料自給率向上のため、釧路・根室地方の多様な農水産物の生産力を安定、強化する必要があります。そのためには、市場のグローバル化に対応し、スマート化やイノベーションによる農林水産業の振興や担い手の確保を促進するとともに、効率的な輸送体系の構築、「食」の安全性向上やブランド化を図る必要があります。

プロジェクトの概要

今後とも進展が予想される人口減少、少子高齢化に伴う担い手不足に対応するためには、農業・水産業における生産性の向上や作業の効率化、担い手の育成・確保を図る必要があります。
また、恵まれた自然環境を背景に、地域の特長でもある安全・安心な「食」の生産をさらに推進し、自然環境と調和した持続可能な産業構造や多様な輸送モードを活用した効率的な輸送体系の構築によって、最終的には食の高付加価値化・ブランド化の推進につなげる必要があります。

主な取組

○ 効率的な食産業構造の構築

- ・農業用排水路及び農地を保全整備し、農地等の機能回復による農作業の効率化と収量の増加
- ・家畜ふん尿の効率的で適正な農地還元と排水性の改良による生産性の向上と農作業の効率化
- ・ほ場の大区画化と排水改善(乾畑化)による、生産性の向上と農作業の効率化
- ・漁港での屋根付き岸壁等の整備による就労環境の改善

○ 農水産物・食品の安全性向上やブランド化

- ・家畜ふん尿を資源として適切に農地に還元するなど、環境に配慮した資源循環型農業の実現
- ・農業用排水路の水質改善など、環境負荷物質の軽減を図る環境保全型農業の推進
- ・漁港での屋根付き岸壁や低温清浄海水取水設備の整備による衛生管理型の漁業の推進
- ・「道の駅」、「みなとオアシス」、「マリンビジョン」、「『わが村は美しくー北海道』運動」など、地域と行政が連携した魅力ある地域づくりや農水産業の発展を核とした地域振興の推進

○ 産業を支える物流機能の充実

- ・幹線道路網の整備による物流の拠点箇所へのアクセス時間の改善
- ・輸送時間を短縮し、天候に左右されにくい安定的な陸上物流機能の充実
- ・大型船舶に対応した港湾施設を整備し、海上物流の効率化
- ・港内静穏度の確保など、効率的かつ安全な港湾利用の実現
- ・漁獲から運送・加工に至るまでの衛生管理の徹底

令和7年度（5年後）の目標

【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通

【港湾】・釧路港の整備 ・根室港の整備 ・霧多布港の整備(R4年度 北防波堤改良の完成)

【漁港】・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備 ・地域マリンビジョンによる水産物のブランド化

【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備 ・阿寒地区の整備

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 基幹産業である農林水産業の持続的な成長
 - ・安全・安心かつ良質な農林水産物の安定供給に向けた体質強化
 - ・担い手の育成・確保に向けた取組の促進やICTなどの新たな技術の導入推進による生産力の向上
- 農林水産資源などを活かした地域産業の振興
 - ・豊富で良質な農林水産資源などを活かした食関連事業者の支援など食のブランド化に向けた取組の展開
 - ・農林水産物を活用した6次産業化や高付加価値化、販路拡大への支援
 - ・エゾシカ生息数の適正管理及び捕獲個体の有効活用
 - ・地域の経済・雇用を支える中小・小規模企業の振興

令和4年度までの具体的な施策内容

【道路】・物流機能を支える道路網の整備

北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。
阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)

国道38・44号釧路外環状道路 (L=約16.8km) H31.3.9開通
国道38号釧路新道 (L=約8.8kmのうち、L=約4.7km 4/4、L=約4.1km 2/4開通済み。
L=4.1km 4/4整備促進)

釧路中標津道路上別保道路 (L=約7.8km) H31.3.9開通
国道44号尾幌糸魚沢道路 (L=約24.7km 2/2整備促進)
国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
国道272号上春別防雪 (L=約9.2 km 2/2整備促進)
国道335号標津防災 (L=約3.8km 2/2整備促進)

【港湾】・大型船舶に対応した港湾の整備

釧路港国際物流ターミナル整備事業(水深14m岸壁、水深14m航路泊地) H30完了
釧路港の整備(水深14m泊地)

・効率的かつ安全な利用を実現するための港湾の整備
釧路港の整備(島防波堤、新西防波堤、西防波堤改良)
根室港の整備(水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良、北船揚場改良)
霧多布港の整備(北防波堤改良)

【漁港】・安全で安心な水産物を食卓に提供するための「衛生管理型漁港づくり」

衛生管理型岸壁等の整備(厚岸漁港、落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港)

【農業】・生産性を向上するため、排水路及び農地等の機能の低下を回復する事業

国営総合農地防災事業(美留和地区) R2完了
・生産性を向上と農作業の効率化により、農業経営の安定を図るための事業
国営環境保全型かんがい排水事業(別海西部地区(R2完了)、別海北部地区、根室地区)
国営緊急農地再編整備事業(阿寒地区)

食産業高付加価値化プロジェクト

- 釧路・根室管内では、全国の約18%（全道の33%）に及ぶ生乳を生産するなど、酪農が基幹産業の1つとなっており、国道や釧路港を活用して日々関東方面へ移出することによって、日本における牛乳・乳製品の安定的な供給に寄与しています。
- 釧路開発建設部は、**農業農村整備事業や道路・港湾整備などの事業を通じて、地域の生産活動を支援するとともに、産業を支える人流・物流ネットワークの整備を推進**しています。

環境保全型かんがい排水事業

家畜ふん尿の有効活用と地域環境を保全するために必要な用排水の整備を進め、食料自給率の向上と農業経営の安定、農業生産に伴う環境への影響を軽減します。



釧路港の整備

国際物流ターミナルの整備により釧路港へのファーストポート化による輸送日数の大幅な短縮が実現。背後地への配合飼料の安定供給の向上に寄与します。



釧路・根室管内含め、東北北海道地域の乳牛から生産された生乳を、RORO船により輸送し(日立港など)、首都圏に安定供給(搾乳の翌々日には首都圏到着)。

国営緊急農地再編整備事業阿寒地区 (H30~)

別海西部地区 (H19~R2)

国営総合農地防災事業美留和地区 (H25~R2)



国道の整備及び維持管理

交通ネットワーク形成に向けた高規格幹線道路や地域高規格道路の整備を推進するとともに、防災事業や交通安全対策、効率的・効果的な道路除雪などの維持管理を行っています。



世界水準の観光地形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

知床や阿寒・摩周、釧路湿原、厚岸霧多布昆布森等の雄大な自然や温泉、食、アイヌ文化、地域の歴史・文化など、豊富な観光資源を有する地域です。広域観光周遊ルートや阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト、水のカムイ観光圏等での連携や、7空港の一括運営を契機に二次交通の充実を図るとともに、国内はもとより、海外からの観光客にとって魅力のある世界水準の観光地を形成する必要があります。また、活動人口の増加に資する地域づくり人材の育成・支援の強化やワーケーション等を推進する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

北海道の雄大な景観の中での移動そのものも楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム等の振興、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地のネットワーク化、複数空港の一体的な運営の推進等により、広域的な観光周遊ルートの形成を促進します。
また、地域と行政が連携し、地域資源を活用した地域づくり等の担い手の発掘・育成を促進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 世界遺産や国立・国定公園などの地域資源を活かした交流・関係人口の創出・拡大
 - ・自然、食・温泉・アイヌ文化など、地域が有する観光資源の連結・融合やシーニックバイウェイ、日本遺産などの広域的な取組を活かした着地型・滞在型の観光地づくりの推進
 - ・ATWSを契機としたアドベンチャーツーリズムの推進と外国人観光客受入体制の整備
 - ・北海道横断自動車道の延伸や新たな航空路線の就航を踏まえた広域観光の推進
 - ・冷涼、少雪好天な気候特性を活かした長期滞在やワーケーション、移住・定住の推進

主な取組

- 周遊観光を促進するための取組支援
 - ・広域に点在する観光資源の連携を支える交通網の構築
 - ・港湾・空港などのアクセス向上による観光拠点づくり
 - ・クルージングなど新たな観光ニーズへの対応
 - ・美しい自然景観や活力ある生産風景などの魅力を引き出す施設整備
 - ・「かわたび北海道」、「道の駅」、「シーニックバイウェイ」、「サイクルツーリズム」、「みなとオアシス」、「『わが村は美しくー北海道』運動」など地域と行政が連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの推進
- サービス、情報提供の高質化
 - ・外国人観光客などが個人でも円滑に移動できるよう情報提供の高度化
 - ・新たな観光サービスの創出環境の整備
 - ・交通結節点など観光拠点となる施設の安全性や利便性向上

令和4年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生
 - 久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
 - ・地域と連携した河川空間づくり
 - 釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・広域観光を支える道路網の整備
 - 北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
 - 国道38・44号釧路外環状道路 (L=約16.8km) H31.3.9開通
 - 国道38号釧路新道 (L=約8.8kmのうち、L=約4.7km 4/4、L=約4.1km 2/4開通済み。L=4.1km 4/4整備促進)
 - 釧路中標津道路上別保道路 (L=約7.8km) H31.3.9開通
 - 国道44号尾幌糸魚沢道路 (L=約24.7km 2/2整備促進)
 - 国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
 - 国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
 - 国道272号上春別防雪 (L=約9.2km 2/2整備促進)
 - 国道335号標津防災 (L=約3.8km 2/2整備促進)
- 【空港】・空港機能を適切に発揮させるための空港の整備
 - 釧路空港の整備(進入灯橋梁改良、滑走路端安全区域(RESA))

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通
 - ・地域の魅力を道でつなぐシーニックバイウェイ活動の促進
- 【漁港】・地域マリンビジョンに基づく水産業と観光の連携
- 【空港】・釧路空港の整備(R4年度 進入灯橋梁改良の完成)
- 【農業】・「わが村は美しくー北海道」運動の推進 ・わが村は美しく運動による魅力ある空間づくり

世界水準の観光地形成プロジェクト

【道路】シーニックバイウェイ北海道

シーニックバイウェイは、みちをきっかけに地域住民の方々と行政とが連携し、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取組を進めることにより、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを図るものであります。

平成18年度に「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」が指定ルートに認定、令和元年度には「知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ」が候補ルートとなり、地域と行政が連携して景観その他の地域資源の保全・改善に資する活動を行っています。



厚床フットパス
(知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ)

【農業】「わが村は美しく-北海道」運動

「わが村は美しく-北海道」運動は、北海道の魅力は地域の資源として活用し、活力のある農村漁村を築くため、地域住民自らが主体となって地域の将来像を描き展開している運動です。

第9回「わが村は美しく-北海道」運動コンクールでは、「中標津農業高等学校マネージメント研究班」、「歯舞地区マリンビジョン協議会」「NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会」が優秀賞に、「(一社)音別ふき蒔団」が奨励賞に選ばれました。



復元された旧川と河川利用(釧路湿原自然再生事業)

【漁港】北海道マリンビジョン21

地域の資源を活かしながら、多様な主体の連携・協働により活力ある水産業や漁村の実現を図るため、目指すべき姿を定めた長期的構想として、「北海道マリンビジョン21」を策定しています。
「北海道マリンビジョン21コンテスト2019」では、「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会」が2年連続で最優良賞を受賞しました。



渚泊、水産物ブランド化の取組についての講演の様子

【空港】釧路空港の整備

航空機の安全かつ安定した運航を維持するため、滑走路・誘導路などの老朽化対策を計画的に進め、空港機能の保持に努めています。

【河川】釧路湿原自然再生事業

恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成に資するため、釧路湿原の自然環境保全・復元を目的とした自然再生事業に取り組んでいます。

自然共生社会形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

北海道は、美しく雄大な自然環境を有するとともに、再生可能エネルギー源が豊富に賦存しており、豊かな自然環境の保全、再生及び活用を図るとともに、我が国における2050年カーボンニュートラル(ゼロカーボン北海道)、脱炭素社会の実現に向けて、取組を推進します。

地域をめざす姿(令和7年の地域の将来像)

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

多自然川づくり、良好な都市環境を提供する公園緑地の整備を始め、社会資本整備や土地利用において、生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成など、自然環境が有する多様な機能を積極的に活用するグリーンインフラの取組を推進します。

また、管内には再生可能エネルギー源が豊富に賦存しており、今後はこうした地域に根ざしたエネルギー開発や関連する産業の育成を推進します。

連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

- 豊かな自然環境を次世代に残す環境負荷を最小限に抑えた持続可能な社会の構築
 - ・知床世界自然遺産や国立・国定公園など特色ある豊かな自然環境の保全と利用の促進
 - ・地域の特性を活かしたバイオマス、太陽光、地熱など再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消の推進
 - ・国内唯一の坑内掘炭鉱の保安の確保とCO₂坑内埋め戻し技術の確立、その活用による産炭国への炭鉱技術の移転
 - ・森林資源の循環利用及び木育の推進

主な取組

- 豊かな自然を享受できる地域づくり
 - ・湿原環境、河川環境の回復
 - ・水生生物の生息環境の保全と創造
 - ・野生動物に配慮した道路の整備
 - ・資源循環や環境保全に配慮した農業の推進
 - ・再生可能エネルギーの開発・普及・利活用の支援

令和4年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生
 - 久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
 - ・地域と連携した河川空間づくり
 - 釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・野生動物に配慮した道路の整備
 - 北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
 - 国道38・44号釧路外環状道路 (L=約16.8km) H31.3.9開通
 - 国道38号釧路新道 (L=約8.8kmのうち、L=約4.7km 4/4、L=約4.1km 2/4開通済み。L=4.1km 4/4整備促進)
 - 国道44号尾幌糸魚沢道路 (L=約24.7km 2/2整備促進)
 - 国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
 - 国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
- 【港湾】・水性生物の生息環境の保全と創造に配慮した港湾の整備
 - 釧路港の整備(浚渫土砂を活用した環境共生型防波堤)
- 【農業】・環境に配慮した農業農村整備事業
 - 国営環境保全型かんがい排水事業(別海西部地区(R2完了)、別海北部地区、根室地区)

令和7年度(5年後)の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通
- 【港湾】・釧路港の整備
- 【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備

自然共生社会形成プロジェクト

(豊かな自然を享受できる地域づくり)

【目的】 農業の生産性及び産地収益力の向上による農業経営の安定化を図るため、
資源循環を基本とした環境保全型農業を実践することを目的としている。

■現状と課題

- ① 離農などに伴い、経営規模の拡大、飼養頭数の拡大
- ② 用水施設の老朽化及び施設容量の不足
- ③ 労働力不足
- ④ 牧草の収量が低下
- ⑤ 糞尿の適正な圃場への還元が困難
- ⑥ 糞尿や肥料成分等の負荷物質の河川への流出による水質環境の悪化



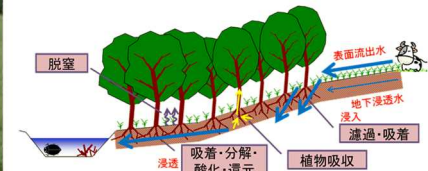
対策イメージ



《整備イメージ》



事業の効用 ・牧草収量の増加 ・周辺環境の改善
 ・作業性の改善 ・経営環境の改善



広域交通ネットワーク形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

広域分散型社会を形成している地域であり、都市部と地域を結ぶ高規格道路や国際バルク戦略港湾を始めとする基幹的ネットワークの整備を進め、基盤整備を含めた物流の強化を図る必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を推進します。

また、国際バルク戦略港湾を始め、海上輸送網の拠点となる港湾の機能強化やRORO船等に対応した複合一貫輸送機能の維持・強化を推進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

○暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成

・鉄道やバス、高規格道路や国際物流ターミナルなど、地域の生活と産業を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実、高度情報通信網の整備

主な取組

○交通・物流ネットワークの強化

- ・高規格道路を始めとする基幹的ネットワークの整備
- ・内外との人流・物流基盤である港湾・空港機能の強化

○利便性を確保するためのアクセス機能の向上

- ・釧路都市圏における交通渋滞の解消
- ・交通事故死者率の減少
- ・地域間連携による医療・福祉機能の確保を支える速達性・確実性の高い道路交通の確保

令和4年度までの具体的な施策内容

【道路】・地域の生活を支える道路網の整備

北海道横断自動車道本別～釧路（L＝約65kmのうち本別IC～阿寒IC L＝48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L＝約17km 2/4整備促進）

国道38・44号釧路外環状道路（L＝約16.8km）H31.3.9開通

国道38号釧路新道（L＝約8.8kmのうち、L＝約4.7km 4/4、L＝約4.1km 2/4開通済み。L＝4.1km 4/4整備促進）

釧路中標津道路上別保道路（L＝約7.8km）H31.3.9開通

国道44号尾幌糸魚沢道路（L＝約24.7km 2/2整備促進）

国道44号根室道路（温根沼IC～根室IC L＝約7.1km）R2.3.22開通

【港湾】・内外との物流基盤の整備

釧路港国際物流ターミナル整備事業（西港地区：水深14m岸壁、水深14m航路泊地）H30完了
釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、水深14m泊地の整備）

【空港】・内外との人流基盤の整備

釧路空港（進入灯橋梁改良、滑走路端安全区域（RESA））

令和7年度（5年後）の目標

【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通

【港湾】・釧路港の整備

【空港】・釧路空港の整備（R4年度 進入灯橋梁改良の完成）

広域交通ネットワーク形成プロジェクト (利便性を確保するためのアクセス機能の向上)

- 平成28年3月の北海道横断自動車道（白糠IC～阿寒IC）と釧路外環状道路（釧路西IC～釧路東IC）、令和2年3月の根室道路の開通により、釧路・根室地域へのアクセス性が向上。
- 阿寒ICまでの部分開通による観光地への速達性の向上により、周辺観光施設及び釧路根室地域全体の観光入込客数は増加傾向にあるが、根室管内の観光入込客数は横ばいで推移している。
- 北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）の整備により、道内外からの所要時間が短縮され、釧路根室地域の更なる観光活性化が期待される。

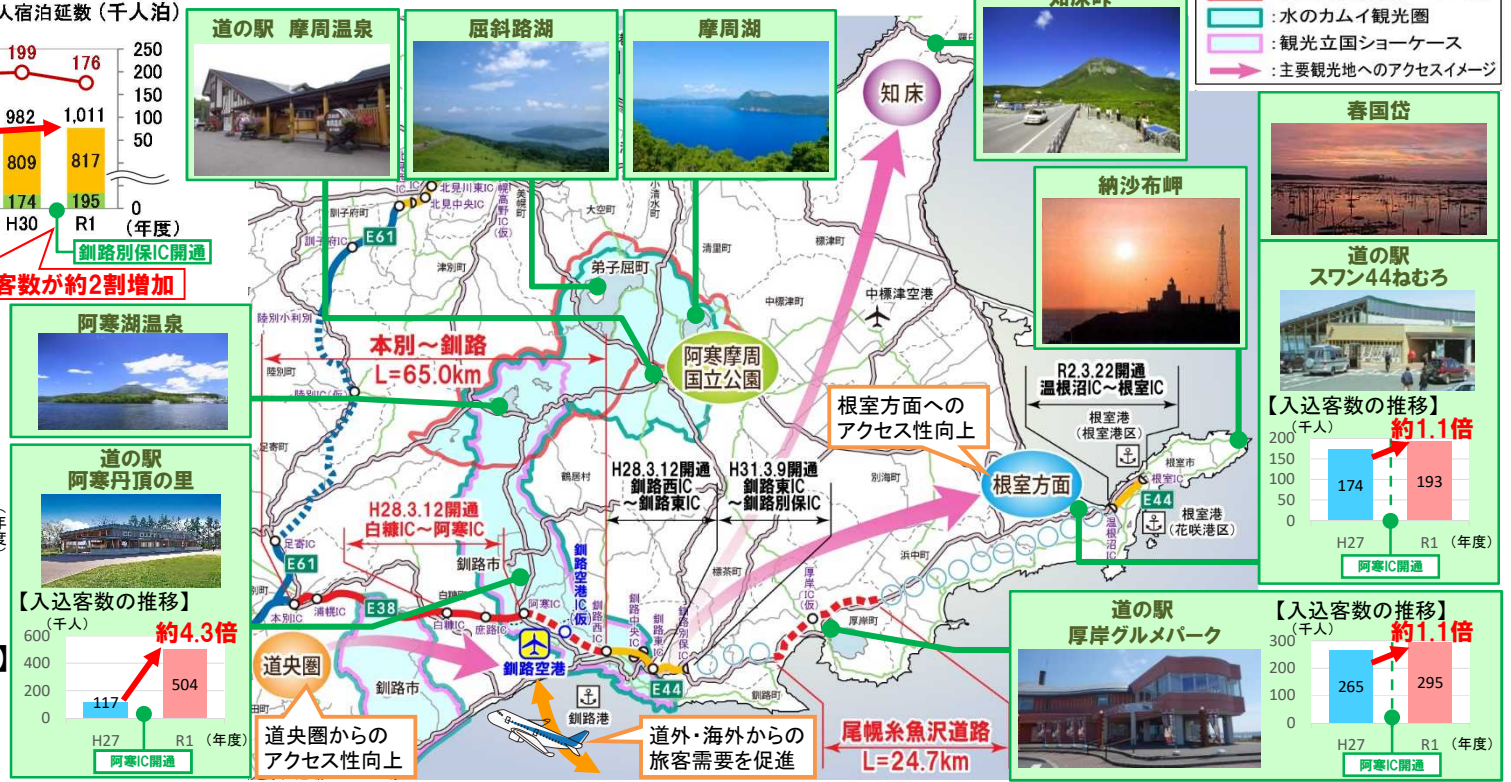
【釧路根室地域への観光入込客数の推移】



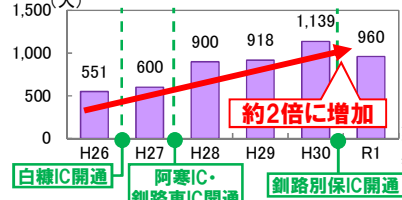
出典: 北海道観光入込客数調査報告書

入込客数が約2割増加

【北海道横断自動車道周辺の主要観光地】



【ねむろバードランドフェスティバル参加者数】



出典: 根室市観光協会

約2倍に増加

【根室半島チャシ跡群来訪者数】



出典: 根室市観光協会

約2倍に増加

■地域の声 (R2.10 阿寒行政センター職員)

・阿寒IC～釧路西IC・尾幌糸魚沢道路が整備されることで、道央圏からの観光客だけでなく、釧路根室圏からのアクセスが向上し、観光需要が増加すると考えられる為、早期延伸を期待しています。

写真: 阿寒行政センター、釧路市役所HP、根室観光協会HP、根室市役所HP、釧路開発建設部

災害に強い地域づくりプロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波、洪水、高潮等の災害から国民の生命や財産を守り、冬期複合災害への備えを進めるとともに、流域治水への転換、国土強靱化のハード・ソフト対策、インフラ老朽化対策としての予防保全への本格転換等にも取り組む必要があります。また、医療、子育て支援に向けた安全・安心なまちづくりを構築する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

平成28年8月に台風が相次いで北海道に上陸・接近し、道内各地の河川、道路、農業用施設等に甚大な被害をもたらされました。今後も気候変動により、災害が更に頻発、激甚化することが懸念されており、多様な主体との連携によりハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせ、効率的な防災・減災対策を進めます。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 災害に強く安心して暮らせる心豊かなまちづくりの推進
 - ・地震や津波、火山、大雨などに対する防災体制及び施設の充実・強化
 - ・森林保全や山地災害防止等のための地域環境に配慮した治山事業の推進
 - ・地域医療と保健・福祉の充実、妊娠・出産、子育てなど各ライフ・ステージにおける支援の推進
 - ・若者、女性、高齢者・障がい者など誰もが暮らしやすい地域づくりの推進

主な取組

- **いのち・地域をつなぐ基盤整備**
 - ・広域連携を可能とする緊急輸送ルートの確保
 - ・各交通手段における代替機能確保による多重化
 - ・インフラの老朽化対策
- **頻発する自然災害に備える防災対策の推進**
 - ・冬期視程障害による交通障害の防止
 - ・災害時におけるライフラインや住民避難場所の確保
 - ・防災関係機関との連携強化
 - ・地震・津波・洪水・高潮時における被害低減及び避難経路の確保
 - ・流域治水プロジェクトの推進
 - ・道の駅の防災機能強化の推進
 - ・空港機能確保のための空港施設の適切な更新改良
 - ・災害時における農水産物流通機能の確保
- **総合的な防災・減災対策の推進**
 - ・防災意識を高める啓発活動、防災訓練の実施
 - ・現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、災害対策用資機材の貸与等、きめ細やかな地域支援の実施

令和4年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・**釧路川の治水安全度の向上、減災対策**
 釧路川河川改修（弟子屈地区 堤防天端保護（R2完了）、河道整備）
 釧路川河川改修（標茶地区 堤防天端保護（R2完了）、堤防整備）
- 【道路】・**災害に強い道路網の整備**
 北海道横断自動車道本別～釧路（L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進）
 国道44号尾幌糸魚沢道路（L=約24.7km 2/2整備促進）
 国道44号根室道路（温根沼IC～根室IC L=約7.1km）R2.3.22開通
 国道44号根室防雪（L=約12.2km 2/2整備促進）
 国道44号雪裡橋架替（L=0.2km 4/4整備促進）
 国道272号上春別防雪（L=約9.2 km 2/2整備促進）
 国道335号標津防災（L=約3.8km 2/2整備促進）
 国道44号釧路末広町電線共同溝（L=1.6km 整備促進）
 国道38号釧路橋北地区電線共同溝（L=3.4km 整備促進）
- 【港湾】・**効率的かつ安全な利用を実現するための港湾の整備**
 釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、水深14m泊地の整備）
 霧多布港の整備（北防波堤改良）
- 【空港】・**空港施設の整備**
 釧路空港（進入灯橋梁改良）
- 【漁港】・**災害に強い漁港の整備**
 厚岸漁港、落石漁港、齒舞漁港、羅臼漁港

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了、標茶地区の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通・根室防雪のR7年度開通・標津防災のR4年度開通
- 【港湾】・釧路港の整備、霧多布港の整備（R4年度 北防波堤改良の完成）
- 【空港】・釧路空港の整備（R4年度 進入灯橋梁改良の完成）
- 【漁港】・厚岸漁港の整備・落石漁港の整備・齒舞漁港の整備・羅臼漁港の整備
- 【防災】・各種防災会議、防災訓練の実施・津波防災地域づくり法支援
- 【共通】・施設の有効活用による避難対策・広域防災体制の整備

災害に強い地域づくりプロジェクト

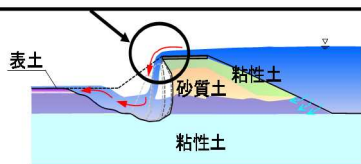
(頻発する自然災害に備える防災対策の推進／総合的な防災・減災対策の推進)

- ◆強靱で持続可能な国土の形成に資するインフラ整備、老朽化対策の推進を図るとともに、農林水産業や観光等を担う生産空間を支える治水事業等を実施しています。
- ◆「水防災意識社会再構築ビジョン」及び「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づくハード・ソフト対策を実施

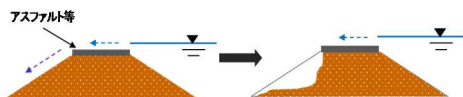
「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づくハード・ソフト対策

堤防天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」の実施



堤防天端舗装の様子
■堤防の天端舗装を実施



釧路川減災対策協議会の様子
(R4年3月17日第8回協議会(WEB))

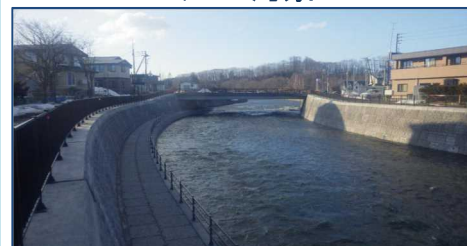


簡易型河川監視カメラと危機管理型水位計設置の様子



河川防災教育の取組の様子
(標茶小学校・標茶高校)

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づくハード・ソフト対策



弟子屈地区河道整備状況



施工前



施工後

樹木伐採状況(イメージ)

■新釧路川、釧路川の河道掘削や樹木伐採により流下能力の向上

■低コストの簡易型河川監視カメラを氾濫の危険性が高い箇所に設置し、身近な画像情報を提供することで住民に適切な避難判断を促します。

「国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づくハード対策



施工前



施工後

■堤防の緩傾斜化による安全性を向上



施工前



施工後

弟子屈地区河道整備状況

■釧路川の河道掘削により流下能力向上

地域環境整備プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

北方領土問題の解決は、領土という国の主権に関わる戦後我が国に残された重要課題であり、北方領土問題を巡る外交交渉を後押しする啓発活動の展開や北方四島在住ロシア人との交流など問題解決のための環境整備に努める必要があります。
また、北方領土隣接地域(根室管内1市4町)が置かれている特殊な地域事情に鑑み、安定した地域社会を形成する必要があります。

地域をめざす姿(令和7年の地域の将来像)

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

魅力ある地域づくりを実現させるためには、安心して暮らせる住環境と必要な利便性を確保した上で、豊かな自然環境をこれからも享受できるような地域である必要があります。
北方領土返還要求運動の拠点である北方領土隣接地域では、地域活力の低下が見られることから、この地域での活力維持発展を図るため、重点的・効率的な安定振興策を推進します。
また、北海道の先住民であるアイヌの人々の生活環境等の向上を図るため、道路網等の環境整備を促進します。

連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
 - ・北方領土問題の啓発活動や北方四島交流などの推進
 - ・北方領土隣接地域の振興

主な取組

- 北方領土隣接地域における地域整備の推進
 - ・隣接地域の振興と安定した魅力ある地域社会の形成を図るための農水産物の高付加価値化、周遊観光の構築、四島交流拠点の整備、地域医療の支援、地震・津波・洪水・高潮対策等、ハード・ソフト一体となった取組の重点化
 - ・流域治水プロジェクトの推進
- アイヌ文化の振興支援
 - ・地域資源であるアイヌ文化を活かした広域観光のための環境整備の促進

令和4年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生
 - 久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
 - ・地域と連携した河川空間づくり
 - 釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・地域環境を踏まえた道路網の整備
 - 北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
 - 国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
 - 国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
 - 国道272号上春別防雪 (L=約9.2km 2/2整備促進)
 - 国道335号標津防災 (L=約3.8km 2/2整備促進)
- 【港湾】・根室港における港湾機能の充実
 - 根室港の整備(水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良、北船揚場改良)
- 【漁港】・水産物の高付加価値化に資するための「衛生管理型漁港づくり」
 - 衛生管理型岸壁等の整備(厚岸漁港、落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港)
- 【農業】・生産性の向上と農作業の効率化により、農業経営の安定を図るための事業
 - 国営環境保全型かんがい排水事業(別海西部地区(R2完了)、別海北部地区、根室地区)

令和7年度(5年後)の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通
- 【港湾】・根室港の整備
- 【漁港】・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備
- 【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備

地域環境整備プロジェクト

【整備目的】

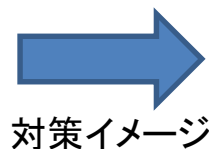
安全・安心な水産物の安定供給を図るため、漁港における総合的衛生管理対策を推進

■現状と課題

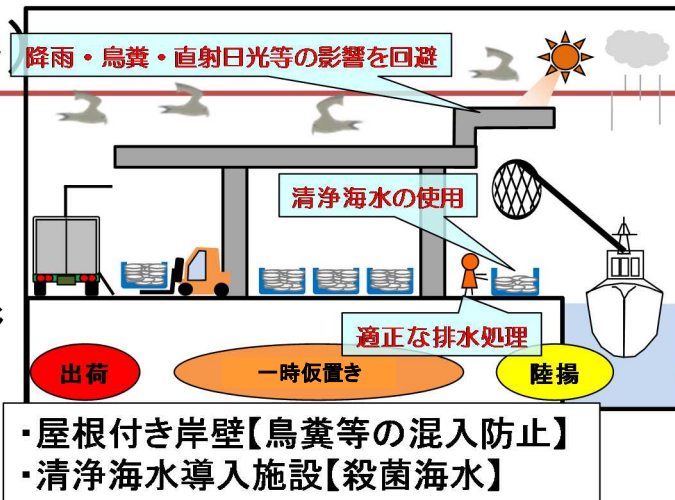
- ① 鳥類が蝟集する中での陸揚作業により糞や埃の混入
- ② 野天での陸揚げから直射日光や降雨による鮮度低下



羅臼漁港



対策イメージ



これまでの衛生管理対策の実現



羅臼漁港 人工地盤



厚岸漁港 屋根付き岸壁・人工地盤



完成予定の衛生管理施設



歯舞漁港 屋根付き岸壁・人工地盤
(R4完成予定)

地域重点プロジェクト(国)の進捗状況

食産業高付加価値化プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

食料安全保障の観点から、国民に安全で安心な食の供給を確保し、国内の食料自給率向上のため、釧路・根室地方の多様な農水産物の生産力を安定、強化する必要があります。そのためには、市場のグローバル化に対応し、スマート化やイノベーションによる農林水産業の振興や担い手の確保を促進するとともに、効率的な輸送体系の構築、「食」の安全性向上やブランド化を図る必要があります。

プロジェクトの概要

今後とも進展が予想される人口減少、少子高齢化に伴う担い手不足に対応するためには、農業・水産業における生産性の向上や作業の効率化、担い手の育成・確保を図る必要があります。
また、恵まれた自然環境を背景に、地域の特長でもある安全・安心な「食」の生産をさらに推進し、自然環境と調和した持続可能な産業構造や多様な輸送モードを活用した効率的な輸送体系の構築によって、最終的には食の高付加価値化・ブランド化の推進につなげる必要があります。

主な取組

○ 効率的な食産業構造の構築

- ・農業用排水路及び農地を保全整備し、農地等の機能回復による農作業の効率化と収量の増加
- ・家畜ふん尿の効率的で適正な農地還元と排水性の改良による生産性の向上と農作業の効率化
- ・ほ場の大区画化と排水改善(乾畑化)による、生産性の向上と農作業の効率化
- ・漁港での屋根付き岸壁等の整備による就労環境の改善

○ 農水産物・食品の安全性向上やブランド化

- ・家畜ふん尿を資源として適切に農地に還元するなど、環境に配慮した資源循環型農業の実現
- ・農業用排水路の水質改善など、環境負荷物質の軽減を図る環境保全型農業の推進
- ・漁港での屋根付き岸壁や低温清浄海水取水設備の整備による衛生管理型の漁業の推進
- ・「道の駅」、「みなとオアシス」、「マリンビジョン」、「『わが村は美しくー北海道』運動」など、地域と行政が連携した魅力ある地域づくりや農水産業の発展を核とした地域振興の推進

○ 産業を支える物流機能の充実

- ・幹線道路網の整備による物流の拠点箇所へのアクセス時間の改善
- ・輸送時間を短縮し、天候に左右されにくい安定的な陸上物流機能の充実
- ・大型船舶に対応した港湾施設を整備し、海上物流の効率化
- ・港内静穏度の確保など、効率的かつ安全な港湾利用の実現
- ・漁獲から運送・加工に至るまでの衛生管理の徹底

令和7年度（5年後）の目標

【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通

【港湾】・釧路港の整備 ・根室港の整備 ・霧多布港の整備(R4年度 北防波堤改良の完成)

【漁港】・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備 ・地域マリンビジョンによる水産物のブランド化

【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備 ・阿寒地区の整備

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 基幹産業である農林水産業の持続的な成長
 - ・安全・安心かつ良質な農林水産物の安定供給に向けた体質強化
 - ・担い手の育成・確保に向けた取組の促進やICTなどの新たな技術の導入推進による生産力の向上
- 農林水産資源などを活かした地域産業の振興
 - ・豊富で良質な農林水産資源などを活かした食関連事業者の支援など食のブランド化に向けた取組の展開
 - ・農林水産物を活用した6次産業化や高付加価値化、販路拡大への支援
 - ・エゾシカ生息数の適正管理及び捕獲個体の有効活用
 - ・地域の経済・雇用を支える中小・小規模企業の振興

令和4年度までの具体的な施策内容

【道路】・物流機能を支える道路網の整備

北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。
阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)

国道38・44号釧路外環状道路 (L=約16.8km) H31.3.9開通
国道38号釧路新道 (L=約8.8kmのうち、L=約4.7km 4/4、L=約4.1km 2/4開通済み。
L=4.1km 4/4整備促進)

釧路中標津道路上別保道路 (L=約7.8km) H31.3.9開通
国道44号尾幌糸魚沢道路 (L=約24.7km 2/2整備促進)
国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
国道272号上春別防雪 (L=約9.2 km 2/2整備促進)
国道335号標津防災 (L=約3.8km 2/2整備促進)

【港湾】・大型船舶に対応した港湾の整備

釧路港国際物流ターミナル整備事業(水深14m岸壁、水深14m航路泊地) H30完了
釧路港の整備(水深14m泊地)

・効率的かつ安全な利用を実現するための港湾の整備
釧路港の整備(島防波堤、新西防波堤、西防波堤改良)
根室港の整備(水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良、北船揚場改良)
霧多布港の整備(北防波堤改良)

【漁港】・安全で安心な水産物を食卓に提供するための「衛生管理型漁港づくり」

衛生管理型岸壁等の整備(厚岸漁港、落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港)

【農業】・生産性を向上するため、排水路及び農地等の機能の低下を回復する事業

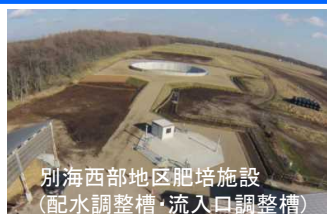
国営総合農地防災事業(美留和地区) R2完了
・生産性を向上と農作業の効率化により、農業経営の安定を図るための事業
国営環境保全型かんがい排水事業(別海西部地区(R2完了)、別海北部地区、根室地区)
国営緊急農地再編整備事業(阿寒地区)

食産業高付加価値化プロジェクト

- 釧路・根室管内では、全国の約18%（全道の33%）に及ぶ生乳を生産するなど、酪農が基幹産業の1つとなっており、国道や釧路港を活用して日々関東方面へ移出することによって、日本における牛乳・乳製品の安定的な供給に寄与しています。
- 釧路開発建設部は、**農業農村整備事業や道路・港湾整備などの事業を通じて、地域の生産活動を支援するとともに、産業を支える人流・物流ネットワークの整備を推進**しています。

環境保全型かんがい排水事業

家畜ふん尿の有効活用と地域環境を保全するために必要な用排水の整備を進め、食料自給率の向上と農業経営の安定、農業生産に伴う環境への影響を軽減します。



釧路港の整備

国際物流ターミナルの整備により釧路港へのファーストポート化による輸送日数の大幅な短縮が実現。背後地への配合飼料の安定供給の向上に寄与します。

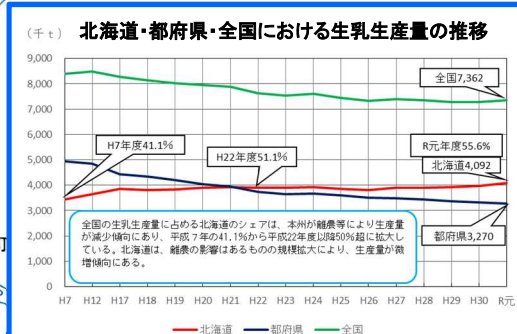


釧路・根室管内含め、東北北海道地域の乳牛から生産された生乳を、RORO船により輸送し(日立港など)、首都圏に安定供給(搾乳の翌々日には首都圏到着)。

国営緊急農地再編整備事業阿寒地区 (H30~)

別海西部地区 (H19~R2)

国営総合農地防災事業美留和地区 (H25~R2)



国道の整備及び維持管理

交通ネットワーク形成に向けた高規格幹線道路や地域高規格道路の整備を推進するとともに、防災事業や交通安全対策、効率的・効果的な道路除雪などの維持管理を行っています。



アメリカ等からの飼料原料(穀物等)が大量一括輸送され、酪農家へ安定供給されています。

世界水準の観光地形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

知床や阿寒・摩周、釧路湿原、厚岸霧多布昆布森等の雄大な自然や温泉、食、アイヌ文化、地域の歴史・文化など、豊富な観光資源を有する地域です。広域観光周遊ルートや阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト、水のカムイ観光圏等での連携や、7空港の一括運営を契機に二次交通の充実を図るとともに、国内はもとより、海外からの観光客にとって魅力のある世界水準の観光地を形成する必要があります。また、活動人口の増加に資する地域づくり人材の育成・支援の強化やワーケーション等を推進する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

北海道の雄大な景観の中での移動そのものも楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム等の振興、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地のネットワーク化、複数空港の一体的な運営の推進等により、広域的な観光周遊ルートの形成を促進します。
また、地域と行政が連携し、地域資源を活用した地域づくり等の担い手の発掘・育成を促進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 世界遺産や国立・国定公園などの地域資源を活かした交流・関係人口の創出・拡大
 - ・自然、食・温泉・アイヌ文化など、地域が有する観光資源の連結・融合やシーニックバイウェイ、日本遺産などの広域的な取組を活かした着地型・滞在型の観光地づくりの推進
 - ・ATWSを契機としたアドベンチャーツーリズムの推進と外国人観光客受入体制の整備
 - ・北海道横断自動車道の延伸や新たな航空路線の就航を踏まえた広域観光の推進
 - ・冷涼、少雪好天な気候特性を活かした長期滞在やワーケーション、移住・定住の推進

主な取組

- 周遊観光を促進するための取組支援
 - ・広域に点在する観光資源の連携を支える交通網の構築
 - ・港湾・空港などのアクセス向上による観光拠点づくり
 - ・クルージングなど新たな観光ニーズへの対応
 - ・美しい自然景観や活力ある生産風景などの魅力を引き出す施設整備
 - ・「かわたび北海道」、「道の駅」、「シーニックバイウェイ」、「サイクルツーリズム」、「みなとオアシス」、「『わが村は美しくー北海道』運動」など地域と行政が連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの推進
- サービス、情報提供の高質化
 - ・外国人観光客などが個人でも円滑に移動できるよう情報提供の高度化
 - ・新たな観光サービスの創出環境の整備
 - ・交通結節点など観光拠点となる施設の安全性や利便性向上

令和4年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生
 - 久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
 - ・地域と連携した河川空間づくり
 - 釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・広域観光を支える道路網の整備
 - 北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
 - 国道38・44号釧路外環状道路 (L=約16.8km) H31.3.9開通
 - 国道38号釧路新道 (L=約8.8kmのうち、L=約4.7km 4/4、L=約4.1km 2/4開通済み。L=4.1km 4/4整備促進)
 - 釧路中標津道路上別保道路 (L=約7.8km) H31.3.9開通
 - 国道44号尾幌糸魚沢道路 (L=約24.7km 2/2整備促進)
 - 国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
 - 国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
 - 国道272号上春別防雪 (L=約9.2km 2/2整備促進)
 - 国道335号標津防災 (L=約3.8km 2/2整備促進)
- 【空港】・空港機能を適切に発揮させるための空港の整備
 - 釧路空港の整備(進入灯橋梁改良、滑走路端安全区域(RESA))

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通
 - ・地域の魅力を道でつなぐシーニックバイウェイ活動の促進
- 【漁港】・地域マリンビジョンに基づく水産業と観光の連携
- 【空港】・釧路空港の整備(R4年度 進入灯橋梁改良の完成)
- 【農業】・「わが村は美しくー北海道」運動の推進 ・わが村は美しく運動による魅力ある空間づくり

世界水準の観光地形成プロジェクト

【道路】シーニックバイウェイ北海道

シーニックバイウェイは、みちをきっかけに地域住民の方々と行政とが連携し、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取組を進めることにより、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを図るものであります。

平成18年度に「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」が指定ルートに認定、令和元年度には「知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ」が候補ルートとなり、地域と行政が連携して景観その他の地域資源の保全・改善に資する活動を行っています。



厚床フットパス
(知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ)

【農業】「わが村は美しく-北海道」運動

「わが村は美しく-北海道」運動は、北海道の魅力は地域の資源として活用し、活力のある農村漁村を築くため、地域住民自らが主体となって地域の将来像を描き展開している運動です。

第9回「わが村は美しく-北海道」運動コンクールでは、「中標津農業高等学校マネージメント研究班」、「歯舞地区マリンビジョン協議会」「NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会」が優秀賞に、「(一社)音別ふき蒔団」が奨励賞に選ばれました。



復元された旧川と河川利用(釧路湿原自然再生事業)

【漁港】北海道マリンビジョン21

地域の資源を活かしながら、多様な主体の連携・協働により活力ある水産業や漁村の実現を図るため、目指すべき姿を定めた長期的構想として、「北海道マリンビジョン21」を策定しています。
「北海道マリンビジョン21コンテスト2019」では、「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会」が2年連続で最優良賞を受賞しました。



渚泊、水産物ブランド化の取組についての講演の様子

【空港】釧路空港の整備

航空機の安全かつ安定した運航を維持するため、滑走路・誘導路などの老朽化対策を計画的に進め、空港機能の保持に努めています。

【河川】釧路湿原自然再生事業

恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成に資するため、釧路湿原の自然環境保全・復元を目的とした自然再生事業に取り組んでいます。

自然共生社会形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

北海道は、美しく雄大な自然環境を有するとともに、再生可能エネルギー源が豊富に賦存しており、豊かな自然環境の保全、再生及び活用を図るとともに、我が国における2050年カーボンニュートラル(ゼロカーボン北海道)、脱炭素社会の実現に向けて、取組を推進します。

地域をめざす姿(令和7年の地域の将来像)

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

多自然川づくり、良好な都市環境を提供する公園緑地の整備を始め、社会資本整備や土地利用において、生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成など、自然環境が有する多様な機能を積極的に活用するグリーンインフラの取組を推進します。

また、管内には再生可能エネルギー源が豊富に賦存しており、今後はこうした地域に根ざしたエネルギー開発や関連する産業の育成を推進します。

連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

- **豊かな自然環境を次世代に残す環境負荷を最小限に抑えた持続可能な社会の構築**
 - ・知床世界自然遺産や国立・国定公園など特色ある豊かな自然環境の保全と利用の促進
 - ・地域の特性を活かしたバイオマス、太陽光、地熱など再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消の推進
 - ・国内唯一の坑内掘炭鉱の保安の確保とCO₂坑内埋め戻し技術の確立、その活用による産炭国への炭鉱技術の移転
 - ・森林資源の循環利用及び木育の推進

主な取組

- **豊かな自然を享受できる地域づくり**
 - ・湿原環境、河川環境の回復
 - ・水生生物の生息環境の保全と創造
 - ・野生動物に配慮した道路の整備
 - ・資源循環や環境保全に配慮した農業の推進
 - ・再生可能エネルギーの開発・普及・利活用の支援

令和4年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生**
久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
- ・地域と連携した河川空間づくり**
釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・野生動物に配慮した道路の整備**
北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。
阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
国道38・44号釧路外環状道路 (L=約16.8km) H31.3.9開通
国道38号釧路新道 (L=約8.8kmのうち、L=約4.7km 4/4、L=約4.1km 2/4開通済み。
L=4.1km 4/4整備促進)
国道44号尾幌糸魚沢道路 (L=約24.7km 2/2整備促進)
国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
- 【港湾】・水性生物の生息環境の保全と創造に配慮した港湾の整備**
釧路港の整備(浚渫土砂を活用した環境共生型防波堤)
- 【農業】・環境に配慮した農業農村整備事業**
国営環境保全型かんがい排水事業(別海西部地区(R2完了)、別海北部地区、根室地区)

令和7年度(5年後)の目標

- 【河川】**・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】**・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通
- 【港湾】**・釧路港の整備
- 【農業】**・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備

自然共生社会形成プロジェクト

(豊かな自然を享受できる地域づくり)

【目的】 農業の生産性及び産地収益力の向上による農業経営の安定化を図るため、**資源循環を基本とした環境保全型農業を実践することを目的としている。**

■現状と課題

- ① 離農などに伴い、経営規模の拡大、飼養頭数の拡大
- ② 用水施設の老朽化及び施設容量の不足
- ③ 労働力不足
- ④ 牧草の収量が低下
- ⑤ 糞尿の適正な圃場への還元が困難
- ⑥ 糞尿や肥料成分等の負荷物質の河川への流出による水質環境の悪化



対策イメージ



《整備イメージ》



事業の効用 ・牧草収量の増加 ・周辺環境の改善
 ・作業性の改善 ・経営環境の改善



広域交通ネットワーク形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

広域分散型社会を形成している地域であり、都市部と地域を結ぶ高規格道路や国際バルク戦略港湾を始めとする基幹的ネットワークの整備を進め、基盤整備を含めた物流の強化を図る必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を推進します。

また、国際バルク戦略港湾を始め、海上輸送網の拠点となる港湾の機能強化やRORO船等に対応した複合一貫輸送機能の維持・強化を推進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

○暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成

・鉄道やバス、高規格道路や国際物流ターミナルなど、地域の生活と産業を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実、高度情報通信網の整備

主な取組

○交通・物流ネットワークの強化

- ・高規格道路を始めとする基幹的ネットワークの整備
- ・内外との人流・物流基盤である港湾・空港機能の強化

○利便性を確保するためのアクセス機能の向上

- ・釧路都市圏における交通渋滞の解消
- ・交通事故死者率の減少
- ・地域間連携による医療・福祉機能の確保を支える速達性・確実性の高い道路交通の確保

令和4年度までの具体的な施策内容

【道路】・地域の生活を支える道路網の整備

北海道横断自動車道本別～釧路（L＝約65kmのうち本別IC～阿寒IC L＝48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L＝約17km 2/4整備促進）

国道38・44号釧路外環状道路（L＝約16.8km）H31.3.9開通

国道38号釧路新道（L＝約8.8kmのうち、L＝約4.7km 4/4、L＝約4.1km 2/4開通済み。L＝4.1km 4/4整備促進）

釧路中標津道路上別保道路（L＝約7.8km）H31.3.9開通

国道44号尾幌糸魚沢道路（L＝約24.7km 2/2整備促進）

国道44号根室道路（温根沼IC～根室IC L＝約7.1km）R2.3.22開通

【港湾】・内外との物流基盤の整備

釧路港国際物流ターミナル整備事業（西港地区：水深14m岸壁、水深14m航路泊地）H30完了
釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、水深14m泊地の整備）

【空港】・内外との人流基盤の整備

釧路空港（進入灯橋梁改良、滑走路端安全区域（RESA））

令和7年度（5年後）の目標

【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通

【港湾】・釧路港の整備

【空港】・釧路空港の整備（R4年度 進入灯橋梁改良の完成）

広域交通ネットワーク形成プロジェクト (利便性を確保するためのアクセス機能の向上)

- 平成28年3月の北海道横断自動車道（白糠IC～阿寒IC）と釧路外環状道路（釧路西IC～釧路東IC）、令和2年3月の根室道路の開通により、釧路・根室地域へのアクセス性が向上。
- 阿寒ICまでの部分開通による観光地への速達性の向上により、周辺観光施設及び釧路根室地域全体の観光入込客数は増加傾向にあるが、根室管内の観光入込客数は横ばいで推移している。
- 北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）の整備により、道内外からの所要時間が短縮され、釧路根室地域の更なる観光活性化が期待される。

【釧路根室地域への観光入込客数の推移】



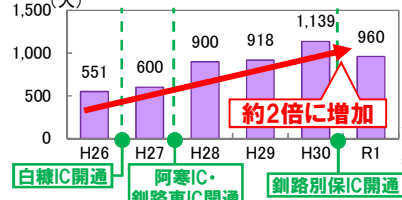
出典：北海道観光入込客数調査報告書

入込客数が約2割増加

【北海道横断自動車道周辺の主要観光地】



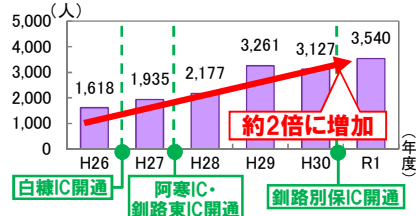
【ねむろバードランドフェスティバル参加者数】



出典：根室市観光協会

約2倍に増加

【根室半島チャシ跡群来訪者数】



出典：根室市観光協会

約2倍に増加

■地域の声 (R2.10 阿寒行政センター職員)

・阿寒IC～釧路西IC・尾幌糸魚沢道路が整備されることで、道央圏からの観光客だけでなく、釧路根室圏からのアクセスが向上し、観光需要が増加すると考えられる為、早期延伸を期待しています。

写真：阿寒行政センター、釧路市役所HP、根室観光協会HP、根室市役所HP、釧路開発建設部

災害に強い地域づくりプロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波、洪水、高潮等の災害から国民の生命や財産を守り、冬期複合災害への備えを進めるとともに、流域治水への転換、国土強靱化のハード・ソフト対策、インフラ老朽化対策としての予防保全への本格転換等にも取り組む必要があります。また、医療、子育て支援に向けた安全・安心なまちづくりを構築する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

平成28年8月に台風が相次いで北海道に上陸・接近し、道内各地の河川、道路、農業用施設等に甚大な被害をもたらされました。今後も気候変動により、災害が更に頻発、激甚化することが懸念されており、多様な主体との連携によりハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせ、効率的な防災・減災対策を進めます。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 災害に強く安心して暮らせる心豊かなまちづくりの推進
 - ・地震や津波、火山、大雨などに対する防災体制及び施設の充実・強化
 - ・森林保全や山地災害防止等のための地域環境に配慮した治山事業の推進
 - ・地域医療と保健・福祉の充実、妊娠・出産、子育てなど各ライフ・ステージにおける支援の推進
 - ・若者、女性、高齢者・障がい者など誰もが暮らしやすい地域づくりの推進

主な取組

- **いのち・地域をつなぐ基盤整備**
 - ・広域連携を可能とする緊急輸送ルートの確保
 - ・各交通手段における代替機能確保による多重化
 - ・インフラの老朽化対策
- **頻発する自然災害に備える防災対策の推進**
 - ・冬期視程障害による交通障害の防止
 - ・災害時におけるライフラインや住民避難場所の確保
 - ・防災関係機関との連携強化
 - ・地震・津波・洪水・高潮時における被害低減及び避難経路の確保
 - ・流域治水プロジェクトの推進
 - ・道の駅の防災機能強化の推進
 - ・空港機能確保のための空港施設の適切な更新改良
 - ・災害時における農水産物流通機能の確保
- **総合的な防災・減災対策の推進**
 - ・防災意識を高める啓発活動、防災訓練の実施
 - ・現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、災害対策用資機材の貸与等、きめ細やかな地域支援の実施

令和4年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・**釧路川の治水安全度の向上、減災対策**
 釧路川河川改修（弟子屈地区 堤防天端保護（R2完了）、河道整備）
 釧路川河川改修（標茶地区 堤防天端保護（R2完了）、堤防整備）
- 【道路】・**災害に強い道路網の整備**
 北海道横断自動車道本別～釧路（L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進）
 国道44号尾幌糸魚沢道路（L=約24.7km 2/2整備促進）
 国道44号根室道路（温根沼IC～根室IC L=約7.1km）R2.3.22開通
 国道44号根室防雪（L=約12.2km 2/2整備促進）
 国道44号雪裡橋架替（L=0.2km 4/4整備促進）
 国道272号上春別防雪（L=約9.2 km 2/2整備促進）
 国道335号標津防災（L=約3.8km 2/2整備促進）
 国道44号釧路末広町電線共同溝（L=1.6km 整備促進）
 国道38号釧路橋北地区電線共同溝（L=3.4km 整備促進）
- 【港湾】・**効率的かつ安全な利用を実現するための港湾の整備**
 釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、水深14m泊地の整備）
 霧多布港の整備（北防波堤改良）
- 【空港】・**空港施設の整備**
 釧路空港（進入灯橋梁改良）
- 【漁港】・**災害に強い漁港の整備**
 厚岸漁港、落石漁港、齒舞漁港、羅臼漁港

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了、標茶地区の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通・根室防雪のR7年度開通・標津防災のR4年度開通
- 【港湾】・釧路港の整備、霧多布港の整備（R4年度 北防波堤改良の完成）
- 【空港】・釧路空港の整備（R4年度 進入灯橋梁改良の完成）
- 【漁港】・厚岸漁港の整備・落石漁港の整備・齒舞漁港の整備・羅臼漁港の整備
- 【防災】・各種防災会議、防災訓練の実施・津波防災地域づくり法支援
- 【共通】・施設の有効活用による避難対策・広域防災体制の整備

災害に強い地域づくりプロジェクト

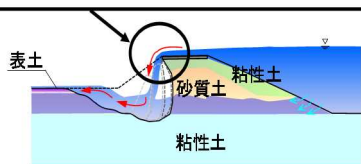
(頻発する自然災害に備える防災対策の推進／総合的な防災・減災対策の推進)

- ◆強靱で持続可能な国土の形成に資するインフラ整備、老朽化対策の推進を図るとともに、農林水産業や観光等を担う生産空間を支える治水事業等を実施しています。
- ◆「水防災意識社会再構築ビジョン」及び「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づくハード・ソフト対策を実施

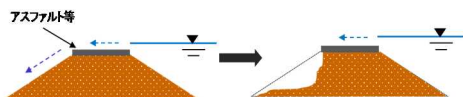
「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づくハード・ソフト対策

堤防天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」の実施



堤防天端舗装の様子
■堤防の天端舗装を実施



釧路川減災対策協議会の様子
(R4年3月17日第8回協議会(WEB))

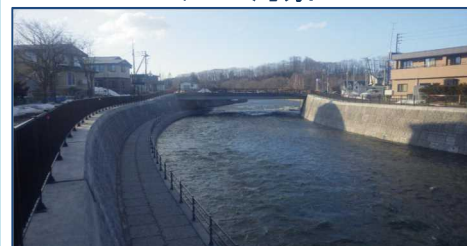


簡易型河川監視カメラと危機管理型水位計設置の様子



河川防災教育の取組の様子
(標茶小学校・標茶高校)

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づくハード・ソフト対策



弟子屈地区河道整備状況



施工前



施工後

樹木伐採状況(イメージ)

■新釧路川、釧路川の河道掘削や樹木伐採により流下能力の向上

■低コストの簡易型河川監視カメラを氾濫の危険性が高い箇所に設置し、身近な画像情報を提供することで住民に適切な避難判断を促します。

「国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づくハード対策



施工前



施工後

■堤防の緩傾斜化による安全性を向上



施工前



施工後

弟子屈地区河道整備状況

■釧路川の河道掘削により流下能力向上

地域環境整備プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

北方領土問題の解決は、領土という国の主権に関わる戦後我が国に残された重要課題であり、北方領土問題を巡る外交交渉を後押しする啓発活動の展開や北方四島在住ロシア人との交流など問題解決のための環境整備に努める必要があります。
また、北方領土隣接地域(根室管内1市4町)が置かれている特殊な地域事情に鑑み、安定した地域社会を形成する必要があります。

地域をめざす姿(令和7年の地域の将来像)

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

魅力ある地域づくりを実現させるためには、安心して暮らせる住環境と必要な利便性を確保した上で、豊かな自然環境をこれからも享受できるような地域である必要があります。
北方領土返還要求運動の拠点である北方領土隣接地域では、地域活力の低下が見られることから、この地域での活力維持発展を図るため、重点的・効率的な安定振興策を推進します。
また、北海道の先住民であるアイヌの人々の生活環境等の向上を図るため、道路網等の環境整備を促進します。

連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
 - ・北方領土問題の啓発活動や北方四島交流などの推進
 - ・北方領土隣接地域の振興

主な取組

- 北方領土隣接地域における地域整備の推進
 - ・隣接地域の振興と安定した魅力ある地域社会の形成を図るための農水産物の高付加価値化、周遊観光の構築、四島交流拠点の整備、地域医療の支援、地震・津波・洪水・高潮対策等、ハード・ソフト一体となった取組の重点化
 - ・流域治水プロジェクトの推進
- アイヌ文化の振興支援
 - ・地域資源であるアイヌ文化を活かした広域観光のための環境整備の促進

令和4年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生
 - 久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
 - ・地域と連携した河川空間づくり
 - 釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・地域環境を踏まえた道路網の整備
 - 北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
 - 国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
 - 国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
 - 国道272号上春別防雪 (L=約9.2km 2/2整備促進)
 - 国道335号標津防災 (L=約3.8km 2/2整備促進)
- 【港湾】・根室港における港湾機能の充実
 - 根室港の整備(水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良、北船揚場改良)
- 【漁港】・水産物の高付加価値化に資するための「衛生管理型漁港づくり」
 - 衛生管理型岸壁等の整備(厚岸漁港、落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港)
- 【農業】・生産性の向上と農作業の効率化により、農業経営の安定を図るための事業
 - 国営環境保全型かんがい排水事業(別海西部地区(R2完了)、別海北部地区、根室地区)

令和7年度(5年後)の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通
- 【港湾】・根室港の整備
- 【漁港】・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備
- 【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備

地域環境整備プロジェクト

【整備目的】

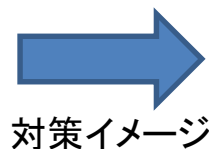
安全・安心な水産物の安定供給を図るため、漁港における総合的衛生管理対策を推進

■現状と課題

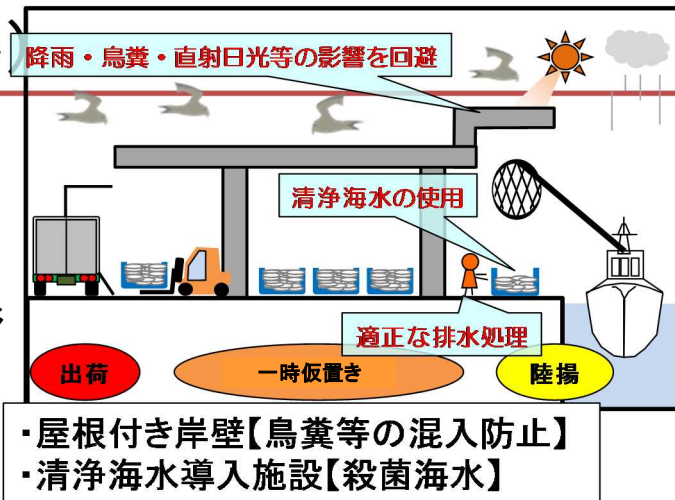
- ① 鳥類が蝟集する中での陸揚作業により糞や埃の混入
- ② 野天での陸揚げから直射日光や降雨による鮮度低下



羅臼漁港



対策イメージ



これまでの衛生管理対策の実現



羅臼漁港 人工地盤



厚岸漁港 屋根付き岸壁・人工地盤



完成予定の衛生管理施設



歯舞漁港 屋根付き岸壁・人工地盤 (R4完成予定)